

骨髓バンク 2006年9月 会報33号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marowjp.net/>

発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・福間究

<事務局> 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1-1-913福間方

TEL : 029-856-7881 / FAX : 020-4668-5485 / E-mail: bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

平成18年度上期登録会&イベント終了！

4月～9月にかけて、県内各地で骨髓バンクドナー登録会とチャリティー募金活動が行われました。その結果、**合計317名**と非常にたくさんの方に登録をいただきました。登録会・募金活動に参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。なお、9月の登録会で無事、平成18年度の上期が終了し、上期の登録者総数は昨年度上期より**18%増**になりました。登録会に参加されました皆様のご協力に感謝申し上げます。下期も上期以上の登録者を目指してがんばって参りましょう！

開催日			イベント名・登録会場名	登録者数	募金額
月	日	曜日			
4	12	水	NTT東日本茨城支店献血並行登録会	10名	
	16	日	かすみがうらマソン献血並行登録会	30名	
5	9	火	土浦ピアタウン献血並行登録会	7名	
	13	土	つくばフェスティバル献血並行登録会	11名	
	14	日	つくばフェスティバル献血並行登録会	17名	
	14	日	「茨城県南瓦工事業組合総会」骨髓バンクPR募金	—	¥13,500
	19	金	キャノン取手事業所献血並行登録会	20名	
	26	金	キャノン取手事業所献血並行登録会	30名	
	31	水	筑波大学献血並行登録会	28名	
6	13	火	情報労連茨城県協議会チャリティーゴルフ寄付金贈呈	—	¥69,947
	15	木	下妻市役所献血並行登録会	20名	
	23	金	鹿嶋フェリオ・ジャスコ献血並行登録会	11名	
	29	木	原研那珂研究所献血並行登録会	5名	
7	22	土	つつみ幼稚園ペンシル募金	—	¥22,664 園より寄付金 ¥30,000
	24	火	三菱化学鹿嶋事業所献血並行登録会	18名	
	28	金	NECコンピュータテック献血並行登録会	1名	
8	24	木	陸上自衛隊勝田駐屯地献血並行登録会	19名	
	26	土	まつりつくば献血並行登録会	5名	
	27	日	まつりつくば献血並行登録会	17名	
9	7	木	水戸経理専門学校献血並行登録会	24名	
	12	火	ベイシア玉造店献血並行登録会	9名	

ドナー登録者30万人をめざして！

14	木	日立製作所情報制御システム事業部 献血並行登録会	12名	
15	金	八千代公民館献血並行登録会	15名	
24	日	日立市市民生活安全フェスティバルペンシルバルーン募金	—	¥23,826
28	木	結城市公民館献血並行登録会	8名	

～平成18年度上半期を終えて～

今年度上半期を振り返ってみましょう。

まず登録会は合計21回開催され、登録者数合計は会員始め関係者の皆様のご協力により、317人となりました。

今年度は昨年の反省から上半期、特に4～6月に登録会が多く開催されたことにより、5月に6回、9月に5回などピーク対応に各地区普及広報委員は一苦勞された事と思います。

特に、福間さんは今年度の担当登録会全7回が全て上半期に集中し、大変ご苦勞なされたことと推察いたします。福間さんは今年度からいばらきの会事務局長に就任され、会務にも励まれたわけですから、上半期の功勞者といえるご活躍ぶりでした。

またもう一人の功勞者は今年度の登録推進員に就任された伊井さんの奥様です。公務員の職を辞して社会貢献活動に専念するというご信念のもと、地元つくば献血ルームの推進員に就任されて、上半期では実に12回もの登録会に参加され、説明員業務を積極的にご担当いただきました。

登録会実務の中で特筆すべき点は、臨時受付方式の実施があります。これは大規模献血会場で問診や採血待ちの行列が長くできるような場合に、こちらから献血者のほうへ出向いて、待ち行列に並んでいる間に申込書に記載してもらう方式です。2月の守谷で試行し、5月の取手キャンオンで本格実施で本方式の有効性を実感しました。

財団関連では、8月に患者負担金改定があり、一部の料金が値下げされました。また今年度のACキャンペーンポスターは、昨年11月に亡くなった本田美奈子さんをモデルとして製作され、テレビ、ラジオ、新聞などを通じてキャンペーンが展開され、全国各地で彼女の追悼展が開催されています。

いばらきの会関連では、会報の充実振りが特筆されます。小田倉編集長のキラリと光る編集方針に脱帽しています。今後のご活躍を大いに期待しております。

また、井手顧問の奥様や高島さんなど新メンバーが加入し、積極的に登録会にもご参加いただいております。当会の隆盛を実感しています。これからも息の長いご参加をよろしく願いいたします。

また、今年度からは、これまで登録会やバルーン募金の会場で配布していたキティティッシュに替えて、いばらきの会オリジナルのティッシュを7月に製作しました。これは県薬務課のご尽力により製作されたもので、茨城県と財団のネームが入り、イラストには浅生ハルミンさん制作のキャラクター「骨髓くん」「ともちゃん」が大きく描かれています。今後は登録会場などで配布し、PRに役立てていきたいと思っておりますので皆様、積極的にご活用下さい。下半期は登録会が合計10回計画されておりますので、薬務課、各保健所ならびに血液センターのご協力の下、一人でも多くの登録者を得るようがんばって参りましょう。

よろしく願いいたします。（牛島英二）

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

7月22日 つつみ幼稚園夏祭りペンシルバルーン募金

例年お世話になっておりま、つつみ幼稚園でのバルーン募金を今年も実施させて頂きました。

つつみ幼稚園に行く途中雨がパラパラと降ったので心配でしたが、幸いも本番では降ることもなく貫井さん、望月さん、横田さんのPRのおかげで夏祭り開始前から子供達が集まり、特にトンボが好評でした。参加された皆様、お疲れ様でした。なお本年もつつみ幼稚園様から3万円のご寄付を頂きましたことを皆様にご報告すると共にこの場をお借りし感謝申し上げます。（福間究）

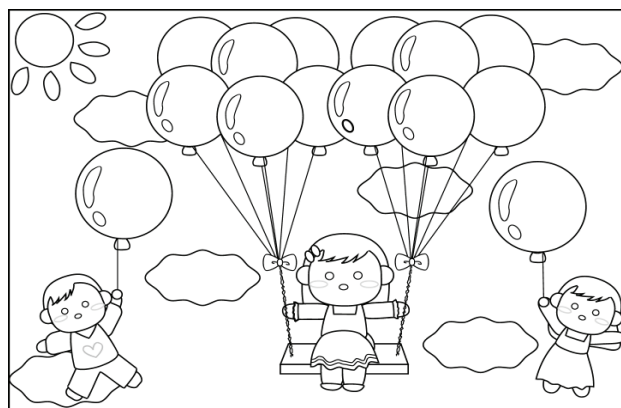
ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

募金額 22,664円

つつみ幼稚園様からのご寄付 30,000円

参加者 貫井さん、望月さん、横田さん、湯本さん、
和田さん、川井さん、小田倉さん、福岡



Hana House

7月24日 三菱化学鹿島事業所献血並行登録会

ドナー登録者数 18名(受付19名)

献血者数 43名(受付55名)

登録会参加者 潮来保健所 高城様、長山様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

財団地区普及広報委員 山崎暢久

昨年も実施し24名の登録実績があり、期待される場所での登録会でした。

朝から、ちらちらと雨模様の足元が悪い中、登録される方のほとんどはご自分から積極的に登録申込にこられ献血者が少ない中、18名の登録は多かったと思います。保健所の高城さんや長山さんの事前の準備や当日の説明も難なくこなし大変素晴らしい気の利いた対応が好成績を出したと思います。

参加された保健所の高城様、長山様、大変お疲れ様でした。

これからもよろしくお願いいたします。(山崎)

7月28日 NECコンピュータテクノ献血並行登録会

ドナー登録者数 1名(受付1名)

献血者数 53名(受付61名)

登録会参加者

筑西保健所 波川様 時野谷様

いばらきの会 川井さん 井手高子さん

財団地区普及広報委員 細谷

2月に登録会を実施したばかりでしたが、社内には若い方が多く、告知など工夫次第では多くの登録者が期待できるのではないかと考えられていたのですが結果的には1名の登録者だけでした。

掲示板にはポスターなどの案内を掲示していただき、社内ネットワークによる告知も積極的にしていただいたようですが、なぜか効果はありませんでした。

当日のささやき作戦にも全く反応はありませんでした。

なぜでしょうか??

これを教訓に今後の登録会でのPR方法を工夫してみたいと思います。(細谷栄一)

ドナー登録者30万人をめざして!

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

8月24日 陸上自衛隊勝田駐屯地献血並行登録会

ドナー登録者数 19名(受付24名)

献血者数 71名(受付81名)

登録会参加者

ひたちなか保健所 渡辺様 上松様

登録推進員 野上さん(水戸ルーム)

いばらきの会 川井さん、井手高子さん、和田さん、高畠さん(初参加)

財団地区普及広報委員 細谷

いばらきの会に新しく入会されました高畠さんが登録会に初参加です。

和田さんとの抜群のコンビネーションで積極的にチラシを配ってPRしてくれました。

その為もあってか登録者数は19名と、献血者数からするとまずまずの数字だったのではないのでしょうか？ただ、高血圧で不適格と判断された方が3名もいたことが驚きでした。

身体を鍛えている方々なのに残念です。登録に至らなかった方5名のうち残り2名は時間がなくなったためです。ご協力いただいた皆さん、ご参加いただいた皆さんありがとうございました。(細谷栄一)

8月26日、27日 まつりつくば(つくば献血ルーム) 献血並行登録会

26日(土)

ドナー登録者数 5名(受付6名)

献血者数 59名(受付77名)

登録会参加者

つくば保健所 谷中様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 牛島さん、鈴木さん、川井さん、和田さん、高畠さん

財団地区普及広報委員 福間

27日(日)

ドナー登録者数 17名(受付17名)

献血者数 79名(受付96名)

登録会参加者

つくば保健所 木所様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 川井さん、和田さん、植村さん、高畠さん、佐藤ファミリー

財団地区普及広報委員 福間

暑い中での登録会を予想していましたが、一転、2日間共曇りで26日の午前中は雨がパラツキました。

26日のドナー登録者数5名はつくば献血ルーム登録会のワーストで、27日の17名は最近の平均ぐらいです。

登録者が少なかった最大の要因はPR不足でした。今回の登録会はPRのメインをつくば市の広報誌掲載におき、つくば保健所よりつくば市に掲載依頼をしていただきましたが、残念ながら8月は記事が多く記載してもらえませんでした。登録者が少なかったもう一つの要因は大学が夏休みで、学生さんらしき人が少なかったことです。

登録者は少なくとも、収穫もありました。登録会の配布用チラシを保健所で500枚用意していただきましたが一日で配布してしまいました。また県作成のパンフレットも保健所に持参して頂いた数では足りず、

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

急きょ献血ルームの在庫品を使用させてもらいました。ということは骨髓バンクのPRは出来たと思っています。

26日のドナー登録が少なかったので、来年の登録会は一日にしようと考えていましたが、今は少し迷っています。理由は27日の16時ごろ献血ルームのすぐ近くで出店されていた商工会の女性の方2名がドナー登録してくださいました。2人は登録会のテントを見て登録しようと思われた訳ですが、もしかしたら26日に登録会に気づき、一日思案され日曜日に登録された可能性もあります。

というわけで一日だけにするのは簡単ですが、一日にしてしまうと二日に復帰するのは難しくなります。そういう理由でもう少し検討し、保健所・献血ルームとも相談しながらどうするか判断したいと考えています。
(福間究)

9月7日 水戸経理専門学校献血並行登録会

ドナー登録者数 24名(受付25名)

献血者数 132名(受付210名)

登録会参加者 水戸保健所 湯浅様

登録推進員 欠席(不連絡)

いばらきの会 牛島さん、川井さん、和田さん、高畠さん

財団地区普及広報委員 山崎

実施場所が水戸経理専門学校ですが実質的には800名もの多くの学生が学んでいる八文字学園全体の献血併行登録会でした。

200名を超える献血多数者や来場される学生の全てが登録対象年齢ということもありドナー登録数に期待してました。

学生たちは授業を割いて反強制的に献血をしているせいか全体的に骨髓バンクへの反応や興味はいまひとつだったように思えドナー登録数は献血申込者の1割ちょっとでした。

参加された皆様、大変お疲れ様でした。(山崎暢久)

9月12日 ベイシア玉造店献血並行登録会

ドナー登録者数 9名(受付11名)

献血者数 40名(受付60名)

登録会参加者

鉾田保健所 長洲 様

登録推進員 不参加

いばらきの会 川井さん、和田さん

財団地区普及広報委員 山崎

屋外での駐車場をお借りしてテントを張っての登録会でした。

秋雨前線の影響で小雨が降ったり風が強く不安定な天気で来場者が少ないことや平日や場所的に田舎だったため、お客さんが登録対象より上の方も多くドナー登録数を心配しましたが、予想よりは登録して頂けたと思います。

協力および参加された皆様有難うございました。(山崎暢久)

ドナー登録者30万人をめざして!

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

9月14日 日立製作所情報制御システム事業部献血並行登録会

ドナー登録者数 12名(受付17名)

献血者数 102名(受付123名)

登録会参加者

日立保健所 菊池様、海老名様

登録推進員 得田さん(日立献血ルーム)

いばらきの会 磯貝さん、井手さん、林さん

財団地区普及広報委員 牛島

献血バス2台の大型会場で、多数の献血者、ドナー登録者が期待されましたが、あいにく午前中はいずれも出足が悪く、低調なまま昼休みを迎えました。午後からは献血者数も順調に伸びて、上記の結果となりました。献血者の年齢層は比較的に若い方が多かったですのですが、ドナー登録への関心は低く、期待したほどの登録数を得ることができませんでした。ただ、登録者の中にはご自分で骨髓バンクのHPをご覧になり、登録申込書をダウンロードして持参された方が2名いらっしゃいました。これも事前案内チラシにHPアドレスを記載した効果と思われそうです。

同事業所は全従業員数約5,000人で、献血は年3回実施されているとのこと、先方ご担当者との事前打合せでは「可能ならば毎回ドナー登録会をやってもらっても良いですよ」とも言っていましたので、次回はぜひとも今回のリベンジを果たすべくがんばる所存です。(牛島英二)

9月15日 八千代公民館献血並行登録会

ドナー登録者数 15名(受付15名)

献血者数 88名(受付95名)

登録会参加者

常総保健所 鈴木様

推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 福間明子さん

財団地区普及広報委員 福間

午前中は献血バス2台、午後は1台でした。午前中は登録者が少なく3名でした。

献血者にバンクのパンフレットを渡すとき、余裕のある人には2度刺しの注意をお願いしていましたが、ほとんどの献血者は移動が早く、説明しきれませんでした。

そのため、午前中の登録者2名の方はドナー登録の時、2度刺しの了解をいただいていたのですが、採血の時、担当の方に苦情を言われたそうです。

午後からは、献血の受付でも2度刺しの注意をしていただき、2度刺しはありませんでした。

また、その注意のおかげで、登録者が12名に増える効果がありました。献血の受付の方にはお世話になり有難うございました。

今回の献血の協力団体が八千代ライオンズクラブで、保健所から事前に協力依頼をしていましたので、ライオンズクラブの方に挨拶し、バンクの説明をしました。そしたら、登録年齢が54才以下なので、今回は協力できないが、次回からは若い人に呼びかけ協力するからとの言葉をいただきました。また、後で登録者数を教えてください、資料があったら配布しておくからの言葉もいただきました。こんな積極的なライオンズクラブも初めてです。登録会終了後は登録者数をお伝えし、県パンフレット50部をお渡ししました。

(福間究)

ドナー登録者30万人をめざして！

7月～9月 茨城県内イベント登録会等報告

9月27日 勝田グリーンライオンズクラブ講演会

9月27日(水曜日)午後7時より勝田グリーンライオンズクラブの会員の方々に骨髄バンクについてお話をさせて頂きました。

この講演会は、8月に実施した陸上自衛隊勝田駐屯地での献血併行登録会の時に、献血ボランティアとしてお手伝いにいらしていた会長様からご依頼頂き実現しました。

講演会の参加者は約20名。私と妻(みさ紀)とでドナー経験や移植経験談を交えて約90分お話をしました。財団ホームページの登録者数や患者数などのデータを使った細かい内容になってしまったにも拘らず、皆さん最後まで大変熱心に聞いていただきました。

最後まで沢山の質問があり、皆さんのこれからの活動に対する意気込みが伝わってきました。

グリーンライオンズクラブの皆様も、今後、骨髄バンクについて理解を深めクラブの活動の中でドナー登録につながるような活動も行いたいということで、勝田グリーンライオンズクラブ主催で行われる献血やそのほかの活動の中で、ギフトオブライフやチャンスなどを配ってPRして頂けるという事でした。

今後の勝田地区での骨髄バンク普及活動の盛り上がりを期待します。(細谷栄一)

9月28日 結城市公民館献血並行登録会

ドナー登録者 登録8名(受付8名)

献血者数 40名(受付50名)

登録会参加者

筑西保健所 波川様、時野谷様

登録推進員 伊井さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 伊井さん、細谷みさ紀さん

財団地区普及広報委員 細谷

今回の登録会では献血対象者が、ほぼライオンズクラブの関係者になる可能性がありました。

年齢の問題(年齢で不適格)で登録できない方が多いことも予想された為、登録会場から少々離れたところにある市役所にもチラシを配りましたが、登録につながる効果は在りませんでした。

ところが、今回は予想に反して若い方の献血希望者の割合が多く、少ない献血者数の中から8名の方にご登録いただきました。その中の1名は市報を見て登録にいらっしゃいました。

また、説明のみ聞いていただいた方も3名いらっしゃいました。血液センターの方々にも大変親切な登録のご案内をしていただいた為、円滑な登録会になったことを感謝いたします。(細谷栄一)

☆10月から12月の主なイベント及び登録会の予定は下記の内容になります。

10月29日	建設フェスタ2006	(担当地区普及広報委員 細谷)
11月10日	かわねやフェスタ店	(担当地区普及広報委員 細谷)
11月12日	日立市産業祭	(担当地区普及広報委員 牛島)
12月25日	イトーヨーカドー古河店	(担当地区普及広報委員 小田倉)

12月未定 水戸こども病院クリスマス訪問 (詳細は決定次第随時連絡)

※登録会の予定は変更になる事も有りますので、登録会参加ご希望の方は、事前に、事務局若しくは各担当地区普及広報委員にお問い合わせ下さい。

皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

ドナー登録者30万人をめざして!

会員便り

☆一瞬の微笑み

8月24日に陸上自衛隊勝田駐屯地で行われました登録会に参加しました。

その日は高畠さんがいばらきの会に入って初めての記念すべき登録会で、高畠さんも「登録会ってどんな事をするのかな?」「いばらきの会はどんな人がいるのかな?」とドキドキしてたと思うんですが私もどんな子が来るんだろうとドキドキしつつもすごく楽しみにしていました。

初めて会ったら親しみやすく、楽しい子ですぐに仲良くなり、「色々教えてください!!」「何をしたらいいですか?」とすごく積極的な子でビックリしました。(エッ!?自分はどんな感じで始めたかって!?忘れちゃいました~(^.^))

一人でも多くの人に献血や登録をしていただける様に、私達2人はパンフレットをいっぱい抱えて人がいる所を探しながら会場周辺を歩き回って多くの方々に呼びかけて頑張っていました。

その甲斐もあって多くの方々に登録して頂きました。

当日は太陽の陽射しが痛いほどの天気で、汗をかきながらヘトヘトになるような一日だったのですがそんな中、元気をくれた出来事がありました。

集団で1・2・1・2と行進してくる自衛隊員に私達2人は少しふざけてドキドキしながらも<敬礼>を試みたくて。

そうしたら何と!笑いながら私達の方を見て一人の男性が、<敬礼>してくれたんです☆

休憩を終えて行進して去って行く時にも後ろを振り返って大きく手を振ってくれました。

厳しい訓練をして日々を生活している人達は心までも鍛えられて優しい人が沢山いるんだなと思いました。そんな“一瞬の微笑み”でした。敬礼~!!(和田かず美)

☆小さなライバル出現!?

二日間とも、人は沢山いるのにお祭りであったせいと、なおかつ小さい子供を連れた人や、ちょっと年齢層が高いかな!ってゆう人が多かったせいか、献血も登録もいまひとつだったところ、佐藤さんファミリーがきてすごい明るい楽しい雰囲気になりました。ルカちゃんが手に持ちきれないほどのパンフレットを持って多くの人に渡して頑張ってくれて、パンフレットが手元なくなると、「もっとちょうだい!」と配るパンフがなくなるまで一生懸命がんばって配ってくれました。

ルカちゃんが渡すパンフは皆受け取ってくれて、ルカちゃんパワーやるなあ!!って感心しちゃいました。

6才になったばかりのルカちゃんにヤキモチを感じながらも悔しさでいっぱいでした。と、言いながらも明るく元気にがんばっているルカちゃんを見て元気をもらった瞬間でもありました。(和田かず美)

☆今年も満開、命のアサガオ

— 聖徳大学附属 聖徳高等学校・聖徳中学校 —

今年も聖徳の玄関が華やかです。

なんと、今年は正門から生徒玄関までの通路3箇所に「命のアサガオ」の花壇が増強!!

夏の間、美しい花を咲かせて、生徒やご父母の目を楽しませています。

この「命のアサガオ」は、昨年からの福祉委員会の皆さんと校長先生、顧問の先生が中心となって取り組まれたものです。

昨年収穫された、たくさんの種は、11月の「聖徳祭」という学校行事の中で、福祉委員会さんの心のこもったメッセージ付で、来校者の方々に配られていました。

今年もいっぱいの花が咲いています。きっとまた、た〜くさんの種が広がって、た〜くさんのメッセージを届けてくれるでしょう。

聖徳の皆さま、ありがとうございました。(Y・I)

ドナー登録者30万人をめざして!

☆骨髄バンク推進全国大会2006に参加して

9月30日に新宿パークタワーホールで骨髄バンク推進全国大会2006が開催されました。

いばらきの会からの参加は、広島から伊井さん、望月さん、私の3名でした。

例年は午前中に地区普及広報委員の研修会があり、午後から全国大会でしたが、今年はなぜか研修会は開催されませんでした。

【式典】

大会ではいつも来賓祝辞がありますが、代読・棒読み・堅苦しい・つまらない・・・ものですが、今年は二人の方の挨拶に感銘を受けました。

一人は小比木(おこのぎ)議員です。議員の方はたいてい代読が多いですが、自ら出席されドナー体験談を披露されました。議員でもドナーになるんだと多くの方が感銘を受けたと思います。

余談ですが、私が横浜に住んでいたころ通勤電車の窓から小比木議員の看板をながめていました。

まだ、お父さんの時代だったと思います。

二人目は大谷貴子さんです。笑顔を絶やさず聞く人に分かりやすい言葉で、骨髄バンクの現状を訴える姿が印象的でした。「ドナー候補者になっても、さまざまな理由で提供できないケースが多いのです。この現状を見ればドナー登録30万人はひとつの通過点でしかありません」の言葉には実感がこもっていました。

感謝状贈呈もいつもつまらない儀式ですが、今年は「えっ！」とすることがありました。株式会社読売巨人軍への感謝状贈呈で、登壇したのが上原投手だったのです。まさかのことだったのでビックリしました。

インタビューも有ったんですよ。あとはフラッシュの嵐でした。

【講演とパネルディスカッション】

パネルディスカッションの課題は「将来の骨髄バンクに望むこと」でしたが、事前にストーリーが出来ていたような進行で、発言内容も総花的でした。どんな結論が出るのでしょうか。

【骨髄バンクを応援しています】

・ゴスペルアンサンブル ・東京学館船橋高等学校吹奏学部 ・スーパーバンドの演奏などがありました。グッズ抽選会は私達にも抽選券が配られ、いばらきの会では、望月さんに巨人軍選手の限定Tシャツが、伊井さんには巨人軍選手のサインボールが当たりました。

私は残念ながらくじ運に恵まれず、なんにも当たりませんでした。

最後に記念アピールを全員で読み上げて終了しました。

私はこの大会に参加する楽しみがいくつかあります。

一つは、骨髄移植したときの先生に再会出来ることです。元気な顔を見ていただくのが最大の恩返しだと思っています。

二つ目は、私が移植のときに入院した名古屋の病院で、付添者の住まいで家内がお世話になった、地区普及広報委員の方に会えることです。

三つ目は長い間入院していた島根県の地区普及広報委員の方に会って、病院や先生の状況を聞くことです。今年は三つ目だけはかないませんでした。(福間究)

☆新しいポケットティッシュが出来上がりました！！

薬務課原様のご尽力により、県作成のポケットティッシュが出来上がりました！！

もう既に一部で配布しておりますが、ティッシュは8wでイラストが差し込みタイプで、とてもシンプル。

シンプルゆえにハルミンさんの絵が引き立ちます。

500ケ×10ケース=5000ケくるみ屋に保管してありますので必要な方はご連絡下さい。

茨城県薬務課原様及びイラストを提供頂いたハルミンさんに感謝です。

ありがとうございました。(山崎暢久)

ドナー登録者30万人をめざして！



会長の独り言

＜ドナーコーディネーター裏話 HLAデータのカラクリ＞

私に今年2月、初の適合通知が来たことは前号でお話したとおりである。93年5月に登録して以来、03年9月に抹消となるまで一度も適合通知が来ることはなかったのに、05年9月に再登録してわずか5ヶ月で適合通知が来たのにはワケがあったのである。

全国協議会ニュース9月号でそのワケ・カラクリが紹介してある。それによると、

- ①05年の1年間に患者さんと照合したドナー1万9千人中、登録後1年未満の人は約20%にも達している。このうち、1ヶ月以内に照合となった人は約1/3にもなる。
- ②昨年3月から登録時のHLA検査方法が今までの血清学的な検査からDNA遺伝子レベルの検査(蛍光ビーズ法)へ変わった。それ以前に登録した人に対しては、適合通知後の確認検査時に同じレベルの検査をし、それを登録データにすることになった。
- ③財団によれば、昨年3月以降登録した人と、それ以前に登録した人とでHLAが一致した時のリストアップされる順位は、DNAレベルまで調べた人のほうが上位にランキングされるとのこと。すなわち、過去に適合通知を受け確認検査済みの人、および昨年3月以降に登録した人がリストの上位に入ることになる。
- ④その結果、同じ人が何度もリストアップされ、また登録したばかりの人にすぐに適合通知が来たりする。

私にわずか5ヶ月で通知が来たことも、メンバーの細谷さんや佐藤さんが何度も適合することも、以上のカラクリからすれば至極当然の結果と言える。前号でも述べたように、現在の全登録者数25万人の内、これまでに確認検査済み4万1千人と昨年3月以降の登録者5万4千人の、合計10万人弱を除く他の登録者は無効とまでは言わないまでも、照合時における重要度はかなり低く、実質的な「有効登録者数」は10万人と見ることもできる。

国が提唱するドナー登録目標数30万人の早期達成も大事だが、昨年3月以前に登録した「無効登録者数」全員に再検査通知を出して、DNAレベルのデータ化を図ることがより重要であると声を大にして申し上げたい。

昨年3月以前に登録し、抹消時期が近い人には、一旦取り消して再登録することをお勧めしたい気分である。(牛島英二)

ドナー登録者30万人をめざして！

☆定例会開催のお知らせ

紅葉の季節となりましたが、今年はどこへ行こうかと思案されている方も多いと思います。さて、2006年度も早いもので、折り返し点を過ぎました。そこで、次の要領で定例会を開催したく、ご多忙の折恐縮ですが出席をお願いいたします。

1. 日時

10月28日(土) 14:00より

2. 場所

くるみ屋さん(銚田市造谷605)TEL:090-8306-7111

3. 内容

定例会 14:00～

- ・上半期総括及び下半期展望(会長報告)
- ・下半期登録会の諸連絡(各地区普及広報委員)
- ・上半期会計報告・行事報告
- ・翌日の登録会に関する連絡事項
- ・情報交換
- ・説明員研修会、バルーン講習会その他

夕食 18:00～

- ・懇親会

4. その他

(1)28日は宿泊可能です(2食付5,000円)※夕食のみも可能です(3,000円)

(2)翌29日(日)は、ひたちなかテクノセンターでの登録会(建設フェスタ2006)兼バルーン募金を行います。

5. 出席の連絡

準備の都合がありますので、10月26日(火)までに、出欠連絡(宿泊、夕食要否も含む)を福間までお願いします。(TELまたはメールで、TEL029-856-7881)

飲酒運転はやめましょう！！

飲んだら乗るな！

飲むなら乗るな！

今年は飲酒運転による事故が多発し

多くの“尊い命”が失われました。

悲劇を生む前に飲酒運転を撲滅しましょう！

☆会員の皆様へのご案内

現在、30万人のドナー登録者を目指して全国各地で色々なイベントや講演会または登録会が行われています。しかしながら、まだまだ多くの患者様が骨髄移植の機会にめぐり合っていないのが現状です。まだまだ骨髄移植に対する理解不足や誤解を招いていることが多いのが原因であると思われます。その為にも、各種イベントや講演会、登録会などでの普及啓発活動は重要なアイテムとなっております。

骨髄移植推進財団では、普及啓発用の資材として、ポスター、小冊子(チャンス、ギフトオブライフ)などを皆様に提供しております。皆様の職場や、公共施設、ご近所のお店などに配布をして

普及啓発に協力をしてもらうことができます。もし必要だと思われる場合は、ご遠慮なく事務局もしくは各地区普及広報委員にお問い合わせください。また、いばらきの会でも、オリジナルのティッシュ、茨城県版パンフレットなどを用意していますので積極的に活用していただければと思います。事務局までお問い合わせください。

ドナー登録者30万人をめざして！

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援を待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義:00110-3-127575

加入者名義:骨髄バンクを支援するいばらきの会

心のもったご寄付をありがとうございました。(2006.7. 1~9. 30)

お寄せいただいたご寄付のうち会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

大屋隆子様 8,000円

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。http://www.jmdp.or.jp

編集後記

本年度も無事、前半戦が終了しました。それぞれ参加された皆様、大変お疲れ様でした。残り半年間、皆で協力してがんばってまいりましょう。

(編集担当 小田倉孝夫)

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:257,104人(県内4,951人)

骨髄移植希望者(患者数):3,315人(海外1,832 県内38人)

バンクを通じての移植例数:7,653例(海外142県内移植数146例、県内採取数137例)
(2006年8月末現在)

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

ドナー登録者30万人をめざして！